

社会福祉法人 晋栄福祉会
座談会

ひとの手に 頼らない介護へ

「ノーリフティングポリシー」に基づくケア。人の手で抱え上げない介護のことだ。社会福祉法人「晋栄福祉会」(大阪・門真市)はこの理念に賛同し、来春新設の特別養護老人ホーム「(仮称) ケアホームちどり」(門真市)に移乗リフトの導入を決めた。グループ内の特養「中山ちどり」(兵庫県宝塚市)でも今年購入し、移乗の際に活用する取り組みが始まっている。リフトを使うことで何がかわるのか。関係者に語ってもらった。

(文 今西富幸 写真 陶器浩平)

晋栄福祉会兵庫エリア総合施設長
うちいげまさき
内池正記さん

晋栄福祉会事務局次長
「ケアホームちどり」開設準備室長
まさきの かおり
牧野香織さん

「中山ちどり」機能訓練指導課主任
作業療法士
みなみ なおこ
皆見直子さん

一 リフト導入の狙いは

牧野 「ケアホームちどり」は全室個室ユニット型の特別養護老人ホームになっており、ケアの手法の一つとしてノーリフティングによるケアを取り入れる予定です。ひ



晋栄福祉会が導入した移乗リフト。最大120kgのひとまで吊り上げることが可能だ

とに抱えてもらうリスクは高く、移乗の時に介護事故が発生する可能性もあります。体格の良い方が多い欧米では介助者の腰痛予防のために、移乗リフトを使った介護が介護現場の主流です。

内池 「中山ちどり」が導入するきっかけは3年前、職員が「一般社団法人全国ノーリフティング推進協会」(HP参照)の研修会に出席したことです。職員有志の勉強会ができ、「ノーリフティングポリシー」の研究を始めると、抱える介護の課題が明らかになりました。

皆見 例えばご利用者を移乗する際、無理に抱えると一部を強く圧迫し、胸や足に内出血ができてしまったり、摩擦で皮膚を傷つけてしまうこともありました。抱える側の職員も身長155cmの私と大柄な職員とでは当然やり方も変わってくる。介護マニュアルだけでは動作の統一が図れなかったのです。

●教科書通りの介護はない

内池 教科書通りのご利用者はいませんからね。職員も長年やっていると自己流の応用が入り、移乗を早めようと無理をして腰痛を抱えてしまう。この仕事が好きなのに身体的負担で休まざるを得ないケースも数多く見てきました。これは介護業界全体の損失です。

牧野 じつは私も20数年前に業界に入ってからずっと腰痛がありました。当時はご利用者を抱えるのはもっぱら男性職員の仕事で、力任せに抱えていたのかもしれない。



内池正記さん

ません。

内池 「中山ちどり」では事故に到らなかったものの「ヒヤリ、ハット」するケースが発生し、なんとかしなければという共通認識がありました。こうした事

2018(平成30)年春 全室個室ユニットケア特別養護老人ホーム (仮称) ケアホームちどりオープン!!

アクセス

大阪府門真市柳田町575

・門真運転免許試験場すぐ ・京阪本線「古川橋」駅徒歩約12分
・京阪本線・大阪モノレール「門真市」駅徒歩約15分

(仮称) ケアホームちどり
オープニングスタッフ大募集!! 詳細は下記まで!

社会福祉法人 晋栄福祉会 ナーシングホーム智鳥
(開設準備室)岡村・牧野

TEL : 072-881-8201 E-mail : h-carehomec@chidori.or.jp



態を重く見た濱田和則理事長の強い後押しもあり、まず移乗介助に使うスライディングボードの購入から始めました。いきなり移乗用リフトの導入をすることには職員の中にも反対意見があったため、まず意識改革が必要でした。

●日本独特の介護文化も影響

— どんな反対意見が

内池 「機械は準備に時間がかかり、介助のスピード感が保てない」「直接抱えた方が業務が早く回る」といった意見が多かったです。現場経験が長く、スキルに自信のあるベテラン職員ほどこの傾向が強いようです。確かに人の手だとベッドから車イスへの移乗は30秒で済みますが、リフトなら3分。実務的にどれだけの違いがあるのか。海外の理学療法士は「どうして日本人はそんなに急ぐのか」と驚いていました。

牧野 そこは「人の手の温かさを大切に」という日本独特の介護文化も影響しているのでは。ただこれは果たしてご利用者本人の声なのでしょうか。我々職員だけがそこにこだわっているように思えてなりません。確かに「人の手の温かさ」は大切だと思っています。しかし、安全・安心な介護を提供することは最も重要なことだと私は考えています。

皆見 「ノーリフティングポリシー」を施設全体の取り組みに位置づけたのも大きかったですね。各ユニットからメンバーを募ってノーリフティング委員会を発足し、どのユニットにリフトを導入するか、1カ月間議論を重ねました。その基準になったの

が腰痛のリスクを感じる職員がいて、抱えないことに賛同してくれたことです。導入前には全職員対象の講習と体験試乗を行い、ご利用者やご家族にも乗っていただいたところ、不満や否定的な声は全くありませんでした。

内池 リフト導入のモデルユニットを選定したわけですが、これはトップダウンでは決まりません。現場の声をきちんと聞いてみるのが重要です。

皆見 リフトの一番の魅力は誰がやっても同じ介助ができることです。機械の力を借りる分、介助する側の目が見守りに向けられ、移乗最中にご利用者との会話もできます。抱える介助ではそんな余裕はありませんでした。移乗用リフトを使用することで多角的な視点が生まれるので、介護事故の軽減にもつながるはずですよ。

牧野 ケアホームちどりではユニットケアを行いますので少人数をひとつのグループ(生活単位)として考えることできめ細やかな介護が可能となり、その分、職員とご利用者の関係も深まり、リフトを使う必要性も浸透しやすいと考えています。

●法人全体の取り組みに広げたい

— 今後の展望は



皆見直子さん

内池 ノーリフティングによるケアは成長段階ですが、可能性のある取り組みです。法人全体に浸透させ、グループ内の全特養に導入していきたいと考えます。他の施設に賛同してもらえるかがカギになりますね。

牧野 従来の考えから脱却するのはなかなか難しいですが、その点「ケアホームちどり」は一からのスタートです。既存の施設よりは導入しやすい面もあります。職員はみな年齢も違い、経験が浅いひとからベテランまでさまざま。日本は高齢社会となり、ご利用者の体格が大きくなっていく一方、介護の重度化も進んでいます。そうした職場環境で安全な介護をしようと思えば、リフトはもはや必須と言えるかもしれません。職員とも積極的なコミュニケーションを重ね、ノーリフティングの理念を理解してもらい、ご利用者に安心・安全な介護を提供しつつ、職員の介護負担の軽減にもつなげることが重要だと考えています。

皆見 現場には多様な意見があり、それを尊重することも福祉のあり方としては重要ですね。私自身、直接作業に関わる者として、柔軟性をもってリフトの良さを広げていければと思っています。

内池 「ノーリフティングポリシー」に基づくケアはいま全国で取り組みが進んでいますが、「中山ちどり」は全国ノーリフティング推進協会が主催する関西で最初の研修施設に認定されました。「ノーリフティングポリシー」のリーダー施設としてこれまで培った経験と知識を余さず「ケアホームちどり」に継承していきます。

晋栄福社会 職員募集

詳細は晋栄福社会採用特別Webサイトへ!

しんえいふくしかい

↑1.入力して



↑2.クリック

http://www.chidori.or.jp/recruit_chidori/

募集職種: 介護職員(生活相談員候補含む)・看護職員

雇用形態: 正職員

採用施設: (仮称)ケアホームちどり(大阪府門真市)、晋栄福社会各施設(大阪府、兵庫県、奈良県エリア)

休日: 年間休日107日(1ヶ月に9日以上。2月のみ8日の休日)年次有給休暇10日(初年度)、育児休暇、介護休暇、リフレッシュ休暇(勤務10年)、プリセット休暇(3~5日の連続休暇)

昇給: 年1回
賞与: 年3回4.2か月※2016年度実施

実績各種手当: 夜勤手当・資格手当・業務手当・住宅手当・交通費

保険: 健康・労災・雇用・厚生年金保険

福利厚生: 退職金制度・育児休暇制度・研修旅行

教育制度: 内定者研修・新人研修・中堅職員研修・法人研究発表会 施設内にある研修委員会の年間計画に沿って実施(感染症予防・AEDの使用方法等)